

珪藻学会第 36 回大会（東京大学）プログラム

期日 2015 年 5 月 9 日（土）・10 日（日）

会場 東京大学弥生講堂アネックス（東京都文京区弥生 1-1-1）

学会会長 南雲保

大会会長 加藤和弘

第 1 日（5 月 9 日（土））

10:30 編集委員会（農学部 1 号館地下 1 階生圏システム学専攻会議室）

11:30 運営委員会（農学部 1 号館地下 1 階生圏システム学専攻会議室）

12:00 受付開始（弥生講堂アネックス入口）

13:00 開会 学会会長挨拶、大会会長挨拶

<ポスター発表> ○は大会当日の発表者

13:15 ポスターフラッシュ（発表内容の概略の紹介、各演題 3 分）

13:30 ポスター発表

P1 やな川の珪藻（福岡県糸島市）

○堺眞砂美（福工大・総研）、天田啓（福工大・工）、川上満泰（福工大・工）、西田千尋（福工大・工）

P2 干潟で採取した珪藻の解析

○西田千尋（福工大・工）、堺眞砂美（福工大・総研）、天田啓（福工大・工）

P3 猪苗代湖の湖底堆積物中の *Aulacoseira* 属珪藻—とくに pH 適応能について

○後藤敏一（近大・医・基礎医学）、廣瀬孝太郎（福島大・共生システム理工学類）

P4 中池見湿地の水環境が珪藻の分布に及ぼす影響

石角江里佳（京都造形芸術大学）、○大塚泰介（琵琶湖博物館）、打越崇子（琵琶湖博物館）、木原靖郎（たんさいぼうの会）

P5 バイオテンプレートプロセスへの応用を目指した珪藻培養技術

○朴貞子・彌田智一・鎌田香織（東京工業大学フロンティア研究機構 JST-ERATO 彌田超集積材料プロジェクト）

<休憩>

<講演（一般口頭発表）> ○は大会当日の発表者

<化石珪藻・堆積物中の珪藻>

14:45 ○1. 珪藻化石からみた滋賀県多賀町四手における約 180 万年前の古環境

○富小由紀（滋賀県立大学）、大塚泰介（琵琶湖博物館）、堂満華子（滋賀県立大学）、林竜馬（琵琶湖博物館）、里口保文（琵琶湖博物館）、多賀町古代ゾウ発掘プロジェクト

15:00 ○2. 竜ノ口川（仙台市）上流に分布する大年寺層から見出された珪藻化石

○田中宏之（前橋珪藻研）、南雲保（日歯大・生物）

15:15 ○3. 珪藻化石の浸透が下位層準の珪藻化石群集へ与える影響

○千葉崇（筑波大）、竹村貴人（日本大）、植村杏太（日本大）

15:30 ○4. IODP341 次航海アラスカ湾 U1418 コア堆積物中の珪藻化石分析

○今野進（九大）、菅聖一郎（九大）、岡崎裕典（九大）、朝日博史（KOPRI）、Christina L. Belanger（SDSMT）、Maureen Davies-Walczak（ANU）、福村朱美（北大）、Shyam Gupta（NIO）、松崎賢史（産総研）、Alan C. Mix（OSU）、須藤 斎（名大）& IODP Exp. 341 Scientists

<休憩>

16:00 ○5. 珪藻化石群集の変動に基づく南極ウェッデル海の古海洋環境復元

○加藤悠爾（名古屋大学）、須藤斎（名古屋大学）

16:15 ○6. 環境の変化は堆積物にどのように記録されるか—猪苗代湖における過去約 100 年間の記録（水質と現生・化石珪藻群集）—

○廣瀬孝太郎（福島大・共生システム理工）、後藤敏一（近大・医・基礎医学）、山崎秀夫（近大・理工）、長橋良隆（福島大・共生システム理工）

16:30 ○7. 珪藻遺骸群集を用いた年縞ラミナ堆積物の環境復元—その現状と問題点—

○鹿島薫（九州大学）

16:45 記念写真撮影・総会（弥生講堂アネックス）

18:00 懇親会（東京大学弥生キャンパス内 レストラン アブルボア）

第2日 (5月10日 (日))

<講演 (一般口頭発表)> ○は大会当日の発表者

<海産珪藻>

9:00 ○8. 日本沿岸の *Pleurosigma* 属の形態分類学的研究

○原陽太(海洋大・院・藻類)・鈴木秀和(海洋大・院・藻類)・南雲保(日歯大・生物)・田中次郎(海洋大・院・藻類)

9:15 ○9. 海産管棲珪藻 *Parlibellus latirostris* Hidek. Suzuki et M. Miyauchi sp. nov. の形態と分類学的検討

○鈴木秀和(海洋大・院・藻類)・宮内麻由美(海洋大・院・藻類)・秋田晋吾(海洋大・院・応用藻類)・藤田大(海洋大・院・応用藻類)・南雲保(日歯大・生物)・田中次郎(海洋大・院・藻類)

9:30 ○10. 仙台湾における浮遊性群集の種組成と季節変動

○渡辺剛(東北水研)・谷内由貴子(東北水研)・笈茂穂(東北水研)・坂見知子(東北水研)・桑田晃(東北水研)

9:45 ○11. 北太平洋産イワシクジラとニタリクジラにおける珪藻相の比較

○加藤孝一郎(海洋大・院・鯨類)・鈴木秀和(海洋大・院・藻類)・田村力(日鯨研)・藤瀬良弘(日鯨研)・南雲保(日本歯大・生物)・加藤秀弘(海洋大・院・鯨類)

<休憩>

<淡水珪藻・生態・応用>

10:15 ○12. パルマ藻のプレート形成

山田和正(福井県大・海洋)・桂大貴(福井県大・海洋)・佐藤晋也(福井県大・海洋)・長里千香子(北大・北方セ)・本村泰三(北大・北方セ)・一宮睦雄(熊本県大・環境)・桑田晃(東北水研)・○吉川伸哉(福井県大・海洋)

10:30 ○13. 日本における *Aulacoseira subarctica* 種群の species flock

○辻彰洋(科博・植物)

10:45 ○14. 自然観察イベントにおける生物多様性とマイクロハビタットの理解

○芝崎美世子(大阪市大院)・後藤裕己(大阪自然環境保全協会微小貝プロジェクト)・高橋恵之(大阪自然環境保全協会微小貝プロジェクト)・田中広樹(大阪自然環境保全協会微小貝プロジェクト)・大塚泰介(琵琶湖博物館)

11:00 ○15. 珪藻・電解質・水棲細菌を用いた、水中死体の入水域の推定および溺死判定

○中嶋信・榎野陽介・岩瀬博太郎(東京大・法医)

<休憩>

11:30 ○16. 珪藻をバイオテンプレートに用いた金属微小構造体の作製と光学特性評価

○鎌田香織・朴貞子・彌田智一(東京工業大学フロンティア研究機構 JST-ERATO 彌田超集積材料プロジェクト)

11:45 ○17. 運動速度解析による、エタノールまたは界面活性剤の珪藻細胞への影響評価

○加藤淳生(東理大理二)・佐渡谷雄介(東理大理二)・平久夫(東理大理二)・鈴木彰(東理大理二)・花田修賢(弘大理工)・杉岡幸次(理研)・真山茂樹(東学大)・梅村和夫(東理大理二)

<昼休み>

<シンポジウム「珪藻の種とは？」>

13:00 シンポジウム開催挨拶

13:05 S1 珪藻学における種の扱いの変遷 ○真山茂樹(東学大)

13:25 S2 形態や微細構造からみた珪藻の種 ○渡辺剛(東北水研)

13:45 S3 休眠孢子から見た珪藻の種 ○須藤 斎(名大・環境)

<休憩>

14:20 S4 珪藻の種と分子系統 ○佐藤晋也(福井県大)

14:40 S5 珪藻研究における「種」の考え方-現在の環境や生態系を研究する立場から(仮) ○大塚泰介(琵琶湖博物館)

15:00 S6 珪藻化石における「種」とは何か ○齋藤めぐみ(国立科学博物館)

<休憩>

15:35 総合討論

16:15 シンポジウム終了の挨拶

16:20 大会閉会